

都市農地に関する情報交換会及び「農」の機能発揮支援アドバイザー派遣事業説明会 開催報告

2021(令和3)年7月、当センターでは今年度も「農」の機能発揮支援アドバイザー派遣事業がスタートするのに合わせ、都市農業・都市農地に携わる自治体担当者や農業関係者、専門家等の皆さんを対象とした都市農地に関する情報交換会および令和3年度「農」の機能発揮支援アドバイザー派遣事業についての説明会を、全国3会場にて開催しました。

今年度もコロナウィルス感染症対策を考慮し、各会場での実開催に合わせ、ZOOM・ウェビナーによるオンライン配信を実施いたしました(各会場はソーシャルディスタンスを確保するため、人数を制限させていただきました)。

3会場＋オンラインで 230 名超が参加

7月13日東京、14日名古屋、15日大阪の会場にはコロナ禍で緊急事態宣言下の中、30名の来場者、オンライン参加は約200アカウントの視聴者があり、来場・オンラインあわせて230名超の皆様にご参加いただきました(なお、1アカウントにつき複数名での視聴予定者を含めた合計は約300名)。

国からの情報提供

「特定生産緑地」など最近の都市農業・農地に関わるテーマを中心に、農林水産省・国土交通省の担当官からの情報提供、各地の自治体における取組み状況の紹介、それらに対する質疑応答・情報交換などが活発に行われました。農林水産省からは、都市農地貸借の円滑化に関する法律の制定と優良事例を含めた活用状況、都市農業に関する税制措置等について説明していただきました。国土交通省からは、特定生産緑地の取組み状況と新たな地区計画、都市農地の新たな価値の提供としてグリーンインフラ等について、ご説明をいただきました。

自治体等による事例紹介

また、各自治体等における取組として、東京会場では、東京都農業振興課より東京農業振興プランや各種農業施策を、農のある暮らしづくり協議会(日野市)よりまちづくり条例を活用した農をテーマとしたまちづくり計画提案に至る経緯と今後の展望を、名古屋会場では、市の取組から発展して設立されたNPO法人かきつ畑(知立市)より、生産者と消費者をつなぐサイクル構築に向けた農体験やマルシェ、学校との連携等の取組みを、大阪会場では、兵庫県楽農生活室より、都市農業振興策および「地域住民と共生するひょうご都市農業応援事業」をご紹介いただきました。



東京会場



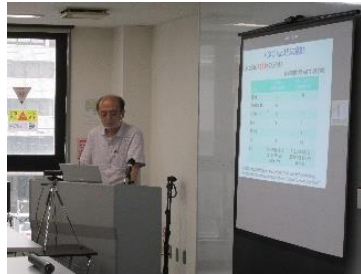
名古屋会場



大阪会場

学識者による講演

大阪・名古屋の会場では学識者による講演として、三重大学名誉教授・波多野豪氏(名古屋会場)より「都市農業とCSAについて考える」について、神戸大学大学院 農学研究科教授・中塚雅也氏(大阪会場)より、「近畿圏における都市と農村の新しい連携と農業経営」について、大変興味深いお話をいただきました。



名古屋会場講演: 波多野豪氏



大阪会場講演: 中塚雅也教授

アドバイザー派遣事業の紹介

「農」の機能発揮アドバイザー派遣事業の説明では、コロナ禍の状況を踏まえ、昨年度からオンラインでもアドバイザー派遣を実施することとし、派遣依頼者にはオンライン実施のために必要な機器や人的サポートの支援も行っていくことのお知らせさせていただきました。

また、アドバイザー派遣の活用イメージを一層理解していただくため、事業案内リーフレットにて様々な派遣のタイプをイメージできるよう、イラストを盛り込んで紹介させていただくとともに、今年度よりアドバイザー派遣事業の説明動画を youtube にて配信しています。各会場でアドバイザーに具体的な派遣事例(伝統野菜・食育の普及・啓発活動の取組等)や最近の都市農業農地を活かした取組みについてご紹介いただきました。



農の機能発揮支援アドバイザー派遣事業 事業案内リーフレット
([ダウンロードはこちら\(PDF2,477KB\)](#))

おわりに

当センターでは、今回参加された皆様のご意見・ご感想も踏まえ、今後も定期講演会やセミナーの開催等を通じて、各地での取組みに資する情報提供等を行ってまいりますので、どうぞご期待ください。